

ユニバーサル・デザイン化研修

7月6日（月）

西日本豪雨からちょうど2年になります。週末は熊本を中心に甚大な被害が発生し、多くの尊い命が失われました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、今日も鹿児島県や宮崎県などで降り続く雨で被害が拡大しないことを願っています。

さて、本校は5年前から「ユニバーサル・デザイン化研修事業」に取り組んでいます。本年度も ICT や体力アップなどの研究と並行して、ユニバーサル・デザイン化研修に取り組み、どの生徒も「わかった!」「できた!」と実感できる授業づくりに取り組みます。

本日は7時間目を設定し、1年生のみ残り英語の授業を行いました。他の生徒は6時間授業後、ノ一部活で下校させました。授業を受ける生徒の様子を教育相談室の大石さんに見ていただき、その後、事後研修を行いました。

本日の研修に先立ち、3日（金）の放課後には、本日授業をしてくれた増田先生がプレ授業を行いました。生徒役はいつも通り私たち教員です。この日は、英語初心者の一番大きな壁である「be 動詞と一般動詞の区別」について学習しました。

プレ授業の良いところは、授業者だけでなく、生徒役の先生たちが生徒目線で授業を見ることができる点です。生徒として授業を受けることで、「さっきの質問の意味が分かりにくい。」とか「板書が見えない。」など、多くの気づきがあります。それが自分の教科の授業にも生かされます。英語に悪戦苦闘しながら、授業が分からない生徒の思いを感じ取ることができました。

【プレ授業の様子】



【授業研究本番】

今日は少しでも三密を避けるため、2・3年生の先生は別教室からズームで授業を見学しました。



また、本日は5時間目に2年生を対象に進路の校長講話を行いました。昔から「2年生は中だるみの学年」と言われ、成績が下がる生徒が多くいます。学校や家庭でコツコツと学習する習慣や掃除や部活動などを手を抜かずに頑張ることが入試に直結するなどの話を行いました。最後に先日のHPにも掲載した「There is no royal road to learning.」の話をして終わりました。明日からしばらくは2年生を中心に授業を見に行くことにしましょう。

